

令和5年度九州地域公開講演会

長期観測でわかる森林の これまで と これから

令和5年11月22日(水)

13:30~16:30 受付開始13:00

入場無料

事前予約不要

くまもと県民交流館パレア

〒860-8554 熊本県熊本市中央区手取本町8-9

テトリアくまもとビル10Fパレアホール

講演 13:35~15:25

森林整備センター九州整備局 三岡 朗

森林整備センターが進める水源の森づくり

森林総合研究所九州支所 近藤 洋史

収穫試験地とは?~森林の成長に関する固定試験地~

森林総合研究所九州支所 壁谷 直記

森林と水の関わりを科学する~森林理水試験地について~

森林総合研究所九州支所 稲垣 昌宏

森林の地下部炭素量の長期モニタリングと九州地方の炭素蓄積量

パネルディスカッション 15:45~16:30



【主催】 国立研究開発法人森林研究・整備機構
森林総合研究所九州支所
林木育種センター九州育種場
森林整備センター九州整備局

【後援】 熊本県、九州森林管理局



講演詳細

森林整備センター九州整備局副局長 三岡 朗 森林整備センターが進める水源の森づくり

森林整備センターは、昭和36年から水源林造成事業を実施しており、今年で62年目をむかえ、これまでに全国で約49万ヘクタールの水源の森を造成してきた。そこで、森林整備センターが長期にわたって取り組んできた水源林造成事業について、目的や内容、これまでの実績や効果、これからめざす森づくりを紹介する。

森林総合研究所九州支所森林資源管理研究グループ長 近藤 洋史 収穫試験地とは?～森林の成長に関する固定試験地～

森林総合研究所では、全国の国有林内に、収穫試験地を設定して長期継続調査データを収集している。当グループでは、九州森林管理局が管轄する国有林内に、これまで、スギ13箇所、ヒノキ21箇所、アカマツ1箇所の、合計35箇所の試験地を設定し、調査を実施してきた。これらの試験地の概要について紹介する。

森林総合研究所九州支所山地防災研究グループ主任研究員 壁谷 直記 森林と水の関わりを科学する～森林理水試験地について～

山に降った雨が、どのように川にまで流れ下るのか?など我々の毎日の生活に欠かせない“水”と“森”の関わりについてわかりやすく解説する。また、森林総合研究所で取り組んでいる長期森林理水試験地についてその成り立ちと取り組みを紹介するとともに、熊本とカンボジアでの最新の研究事例を紹介する。

森林総合研究所九州支所チーム長(土壌環境評価担当) 稲垣 昌宏 森林の地下部炭素量の長期モニタリングと九州地方の炭素蓄積量

平成18年から現在まで継続している林野庁事業「森林吸収源インベントリ情報整備事業 土壌等調査」の背景と目的、具体的な調査方法を説明する。さらに、九州地方の森林の土壌、枯死木、リターに含まれる炭素蓄積量の初期5年間の調査結果と他の地方との比較について、公表されている論文中のデータを用いて紹介する。

会場案内



くまもと県民交流館パレアには提携の駐車場はございません。近隣の駐車場をご利用ください。

JR熊本駅から

市電: 23分(「水道町」電停下車)
熊本都市バス、九州産交バス、熊本電鉄バス、熊本バス: 17分
(「水道町」バス停下車)、15分(「通町筋」バス停下車)
タクシー: 15分

熊本交通センターから

市電: 11分(「辛島町」電停乗車～「水道町」電停下車)
熊本都市バス、九州産交バス、熊本電鉄バス、熊本バス: 8分
(「水道町」バス停下車)、6分(「通町筋」バス停下車)
タクシー: 5分

JR新水前寺駅から

市電: 8分(「水道町」電停下車)
熊本都市バス、九州産交バス、熊本電鉄バス、熊本バス: 8分
(「水道町」バス停下車)、11分(「通町筋」バス停下車)

問い合わせ先



国立研究開発法人森林研究・整備機構
森林総合研究所九州支所

電話: 096-343-3168(代表)

メール: kyswebmaster@ml.affrc.go.jp



九州支所HP公開講演会



パレア交通案内